

悩みごと相談

はじめの一步を踏み出すために ひきこもり相談

ひきこもりとは、自宅以外の生活の場が長期にわたって失われている状態のことをさします。

一步を踏み出し、相談することで気持ちが楽になったり、身近な支援機関の情報を得ることもできます。本人や家族の悩みや問題に寄り添いながら、一緒に考え解決の方向へサポートします。まずは、相談してください。

- ▶**対象者** ひきこもり本人やその家族など
- ▶**日時** 2月25日(金)午後1時30分～4時30分
※1人50分程度。要事前申込み
- ▶**場所** 市役所立野庁舎
- ▶**内容** ひきこもりに関する相談
※個人の秘密は厳守します。
- ▶**相談員** 心理カウンセラー・稲松由佳さん
《申込み・問合せ》健康増進課☎22-7700
(もしもし電話健康相談)

生きづらさを感じていませんか 大人の発達障害専門相談

「臨機応変が苦手と予定が変わるとパニックになる」「不注意・多動性・衝動性が通常範囲を超えていて、その行動が生活上の支障をきたす」そうした場合は発達障害の疑いがあります。大人の方で発達障害があり仕事や生活面で悩んでいる人はたくさんおられます。自分や家族だけで悩まずに相談してください。

- ▶**対象者** 本市在住の学齢期を終了した15歳以上で、発達障害の診断を受けている、もしくは疑われる本人またはその家族
- ※既に専門機関で定期的な支援を受けている方は、そちらで継続相談してください。
- ▶**日時** 2月15日(火)午後
※1人80分程度。要事前申込み
- ▶**場所** 市役所立野庁舎
- ▶**内容** 発達障害に関する生活相談
○自立のための生活スキルを身に付けたい
○発達障害が疑われる方との関わり方を知りたい
- ▶**相談員** (一社)トータルハーモニイ心理士
《申込み・問合せ》社会福祉課☎24-7033

ワクチン情報

子宮頸がん予防ワクチン (HPV) 接種勧奨の再開

安全性が確認され接種勧奨を再開

ワクチン接種後に持続的な痛みなどの副反応が見られたことを受け、2013年6月から子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨を差し控えていましたが、その後の調査において安全性に特段の懸念が認められないことが確認されたため、接種勧奨を再開しました。

中1から高1の女子で接種希望の方に予診票を交付

定期接種の対象者(中学1年生から高校1年生相当年齢の女子)で接種を希望する方は、健康増進課または各振興局市民福祉課(保健師駐在日)で予診票を交付します(母子健康手帳が必要です)。

《問合せ》健康増進課☎24-1127

日本脳炎ワクチン供給量 調整に関する動向

2022年度は安定供給の見込み

今年度は、日本脳炎ワクチンの供給量が大幅に減少していたため、第1期追加および第2期の予防接種を延期していましたが、2022年度からは安定的なワクチン供給が見込まれる予定です。例年小学4年生で郵送している予診票については、来年度以降の接種に向けて改めて案内します。

今年度の優先対象者

今年度は次の方を優先して接種を行っています。

- 1 初回1、2回目の接種の方
- 2 初回および第2期について接種が受けられる年齢の上限に近づいている方

①初回：6歳半から7歳半未満の方

②第2期：12歳、高校3年生および19歳の方

※特に、2003年4月2日～04年4月1日生まれで4回の接種を完了していない方は、早めに接種してください。

《問合せ》健康増進課☎24-1127

※掲載している情報は編集時点(1月14日)のもので、変更になっている場合がありますので、注意してください。

地域おこし協力隊紹介 ～私と活動と、時々、暮し～

都市部から地方への移住を促進する国の制度「地域おこし協力隊」。個性溢れる隊員自らが活動を紹介しますシリーズ！

《問合せ》環境経済課 ☎21-9096

vol.9

地域資源を活かした起業を目指す
起業型地域おこし協力隊！



顔 氷

中国蘇州出身。昨年9月から、任期2年の起業型協力隊として活動。趣味は旅行と写真。2018年から日本国内旅行を始め21都府県を訪問。目指すは47都道府県制覇。

世界と繋がる豊岡だから移住
幼い頃から日本のアニメや映画を見て育ち、日本に興味を持っていました。7年前に日本へ移住(後に家族も移住)し、語学の専門学校を卒業後、Rainbow(株)に就職。大阪府泉佐野市でゲストハウス事業を立ち上げ、企画・運営を担当。レンタルキャンピングカー事業も展開し、軌道に乗せてきました。

たいことをやらなければ後悔すると考え、会社を退職しました。リスタートする場所を探していたところ「小さな世界都市」「飛んでるローカル豊岡」という豊岡市のまちづくりに共感し、移住して起業することを決意しました。

豊岡での暮らし
故郷と気候が似ている大阪に住んでいたのですが、豊岡盆地の湿度の高さと寒暖差に驚きました。最近では徐々に慣れ、休日には子どもと豊岡の自然を満喫しています。地元野菜・果物・お米などがおいし過ぎる。2カ月で3キロ太りました。

新鮮な食材が買える直売店に行くのも楽しみの一つです。「地域×宿泊」の実現を目指す。空き家を活用した一棟貸しの宿泊施設開業に向け活動中です。ただ泊まるだけでなく、お客様が街へ出て飲食店でおいしい食事を堪能したり、古き良き雰囲気のある町並みを散策したり、漁業・農業などの体験をしたり、季節に応じた豊岡ならではの観光やアクティビティを体験できる。そのような「地域×宿泊」の取組みを「世界に通用する魅力ある観光地域づくり」と位置付け、地域の皆さんと一緒に構築していきたいです。

将来的には、飲食店などがありさまざまな人の交流が生まれる施設を創りたいです。着任直後は、多くのことを知り、多くの人と繋がるために市内全エリアを数週間かけて回りました。最近では但馬とその周辺地域にエリアを広げて視察しながら「自分が何をやりたいか」だけでなく、地域のために「自分が何ができるか」を考えています。日々勉強のため、いろいろ教えていただければ幸いです。

会社などの広告を掲載しませんか？

2022年度 市広報・ホームページ等への掲載広告募集

市では、新たな自主財源確保による市民サービス向上と地域経済の活性化を図るため、有料広告事業に取り組んでいます。

2022年度 市広報媒体への掲載広告を募集します。詳細は、右の二次元コードから市ホームページで確認してください。

なお、内容によっては掲載できない場合があります。掲載条件などの詳細は、それぞれの申込先に問い合わせてください。



2022年度
広告募集
詳細

広告募集する主な広告媒体

- 広報とよおか
- 市ホームページバナー
- 本庁・各振興局エレベーター
- 公用車
- ごみ収集カレンダー
- 農業委員会だより など



▲広報とよおか

広告掲載のメリット

- 市民からの好感度・信頼性の向上
- 取引先からの評価の向上
- 市の施策に協力・貢献しているイメージの形成
- 企業の知名度向上
- ※広告の内容に関する全ての責任は広告主に帰属します。市が推奨するものではありません。

※掲載している情報は編集時点(1月14日)のもので、変更になっている場合がありますので、注意してください。
広報とよおか 2022年2月号